

令和3年度総合問題A（後期）採点のポイント

【出題の意図】

アドミッションポリシーに基づき、志願者の能力・志向性・適性を多角的に評価することを目的として出題した。

本学で学ぶために必要な基礎学力が備わっていることを前提として、災害や感染症など現代社会が直面する問題について書かれた複数の課題文をもとに、的確な読解力・理解力・論理的思考力・表現力などを見ることを意図して問いを設定した。

問1

【解答例】 省略

【採点のポイント】

- ・阪神淡路大震災を経験して筆者が抱いた現代文明についての疑問を理解している
- ・筆者が指摘する「文明の進歩」の内容と危うさを理解している
- ・人工環境の拡大強化は自然環境への侵略を意味することを理解し、それが「一せいに批判された」ことを読み取っている
- ・問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字、脱字、文のねじれのない適切な文章で表現できている

問2

【解答例】 省略

【採点のポイント】

- ・社会が高度に相互依存し、複雑なシステムである以上、予想外の事態が起きることは原理的に避けがたいことを理解している
- ・事態を「ましにする」ために、システムの単純化や冗長性を持たせることは可能だということを理解している
- ・グローバル化とは相互依存を深めることであり、情報化は全体をつなげてシステム化することであると理解している
- ・問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字、脱字、文のねじれのない適切な文章で表現できている

問3

【解答例】 省略

【採点のポイント】

- ・ パンドラの箱の事例が暗示的な意味を持っていることを読み取っている
- ・ 環境は変化するものであることを理解している
- ・ 環境の変化に適応するためには適応する側にも不断の変化が求められること、環境が変化すれば一時的な不適応が起き、変化の度合いが大きいほど不適応の幅も大きくなることを理解している
- ・ 自らの健康や病気に影響を与える環境を改変する能力を手に入れたことにより、自らが改変した新たな環境への適応を求められることになることを指摘している
- ・ 問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字、脱字、文のねじれのない適切な文章で表現できている

問4

【解答例】 省略

【採点のポイント】

- ・ 課題文①の筆者の主張を記述している
- ・ 主張や根拠が明示されており、説得力がある
- ・ 論理がなめらかで、飛躍がなく、効果的な論の展開になっている
- ・ 自分の考えを述べる際に、課題文②、課題文③-1、③-2 の文中の語句を適切かつ効果的に引用している
- ・ 自らの考えを、誤字、脱字、文のねじれのない適切な文章で表現できている